

**【別冊】**

# 総務教育常任委員会資料

(令和2年11月27日)

【項目】	ページ
3 安心観光・飲食エリア協定の締結について 【新時代・SDGs推進課】・・・2	
7 第123回関西広域連合委員会等の開催結果及び関西広域連合設立10周年記念式典について 【総合統括課】・・・3	

令和新時代創造本部

# 安心観光・飲食エリア協定の締結について

令和2年11月27日  
新時代・SDGs推進課

安心して観光や飲食を満喫していただけるエリアを創出するため、自主的に、地域を挙げて徹底した新型コロナウイルスの感染拡大予防対策に取り組む意向のある団体と、その取組を支援する県・市町村との間で、下記のとおり「安心観光・飲食エリア」に関する協定を締結しましたのでその概要を報告します。

## 1 協定締結者・エリアの概要・今後の動き

全てのエリアにおいて、各団体がエリア内全店舗等に感染拡大予防対策を呼び掛けながら、協賛店・認証事業所制度を推進し、県も制度説明会や個別指導、安心宣言前の対策実行状況の事前確認等により支援を実施しています。

### (1) 皆生温泉エリア（10月30日協定締結）

（協定締結者）皆生温泉旅館組合、米子市観光協会、米子市、鳥取県

（エリアの概要）皆生温泉街の宿泊施設、飲食店、観光案内所など47店舗等

（今後の動き）・1 宿泊施設が認証事業所となっており、その他にも事前相談中の店舗がある。

・12月中旬に県・市町村による感染拡大予防対策の実行状況の事前確認を行った上、12月26日に安心宣言の実施を目指している。

### (2) 若桜氷ノ山エリア（10月30日協定締結）

（協定締結者）氷ノ山観光業者組合、若桜町観光協会、若桜町、鳥取県

（エリアの概要）氷ノ山スキー場周辺の宿泊施設、飲食店、スキー場、スキー等のレンタル事業者、観光施設（響きの森）など18店舗等

（今後の動き）・1 観光施設から認証事業所の事前相談がある。

・12月上旬に県・市町村による感染拡大予防対策の実行状況の事前確認を行った上、12月19日に予定されている氷ノ山スキー場開きに併せて安心宣言の実施を目指している。

### (3) はわい温泉・東郷温泉エリア（10月30日協定締結）

（協定締結者）はわい温泉・東郷温泉旅館組合、湯梨浜町観光協会、湯梨浜町、鳥取県

（エリアの概要）東郷湖畔周辺の宿泊施設、飲食店、土産品店、観光施設（燕趙園）など41店舗等

（今後の動き）・複数の店舗等から認証事業所の事前相談がある。

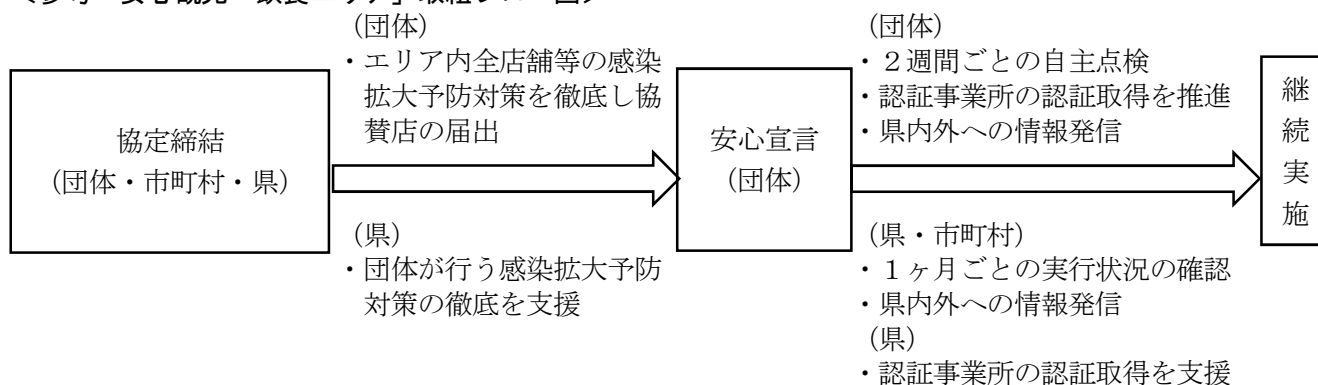
・エリア内全店舗等の感染拡大予防対策の実行状況を県・市町村が11月19日、20日に確認済。12月7日に安心宣言の実施を目指している。

## 2 その他

・既に安心宣言済みの「鳥取砂丘エリア」、「大山寺エリア」は、エリア内全店舗等の感染拡大予防対策を団体が2週間ごとに自主点検、県・市町村が1ヶ月ごとに継続的に確認している。

・協定締結を検討している団体に対して、事業者を集めた説明会を開催するなど市町村とともに協定締結・宣言に向けて支援していく。

## <参考「安心観光・飲食エリア」取組フロー図>



# 第 123 回関西広域連合委員会等の開催結果及び 関西広域連合設立 10 周年記念式典について

令和 2 年 11 月 27 日

総合統括課

令和 2 年 11 月 19 日（木）に大阪市内で開催された第 123 回関西広域連合委員会、及び令和 2 年 11 月 25 日（水）に同じく大阪市内で開催された第 124 回関西広域連合委員会、関西広域連合設立 10 周年記念式典の概要は次のとおりです。

## 第 123 回関西広域連合委員会・連合議会 11 月臨時会

- 1 日時 令和 2 年 11 月 19 日（木） 午前 10 時 50 分から午後 6 時 50 分まで
- 2 場所 大阪市内（大阪府立国際会議場）
- 3 主な内容

### ○「関西・年末感染防止徹底宣言」の発出 資料 1

年末に向け人と接する機会の増加が予想されることから、府県民へ向け、改めて感染防止の徹底、季節性インフルエンザとの同時流行への注意喚起のためのメッセージが発出された。

### ○連合議会 11 月臨時会

鳥取県からは興治議員が、「菅政権の登場と地方分権改革について」及び「ドクターヘリの安定運行に向けて」等の質問を行った。

## 第 124 回関西広域連合委員会

- 1 日時 令和 2 年 11 月 25 日（水） 午後 0 時 45 分から午後 1 時まで
- 2 場所 大阪市内（大阪府立国際会議場）
- 3 主な内容

### ○ 広域連合長選挙

関西広域連合井戸連合長の任期満了に伴う選挙が実施され、和歌山県の仁坂知事が広域連合長に選出された。また、仁坂連合長の指名により京都府の西脇知事が副連合長に選出された。（任期：R2 年 12 月 4 日からの 2 年間）

## 関西広域連合 10 周年記念式典

- 1 目的 平成 22 年 12 月 1 日に設立した関西広域連合が、発足から 10 年を迎えるにあたり、これまでの取組を振り返るとともに、関西広域連合が目指すべき姿を発信する。
- 2 日時 令和 2 年 11 月 25 日（水） 午後 1 時 30 分から午後 5 時まで
- 3 場所 大阪市内（大阪府立国際会議場）
- 4 出席者 広域連合議会議員、歴代連合議会議員・副議長、広域連合委員、歴代広域連合委員、連携団体知事、広域連合協議会委員、国会議員（構成府県市関係議員）、経済団体等
- 5 主な概要

### (1) 基調講演 「ポストコロナ時代の関西」 講師 藻谷浩介氏

内容 今回のコロナ禍において、関西と首都圏とでは感染率に大きな開きがあるとの具体的なデータに基づき、この機会に安全な関西の機能を強化し、東京に偏り過ぎた国土構造を 2 眼レフ構造に戻す必要があることや、今後の展望について講演された。

### (2) パネルディスカッション 「関西から新時代をつくる！」

コーディネーター：新川達郎（同志社大大学院教授）

パネラー 松本正義（関西経済連合会会長）、井戸敏三（兵庫県知事）、吉村洋文（大阪府知事）、藻谷浩介（株日本総研主任研究員）、植田圭宏（広域連合協議会委員）、須藤明子（広域連合協議会委員）

内容 東京一極集中を是正し、国土の双眼構造を実現するために、関西広域連合に期待されること、日本で唯一の府県域を超える広域連合として今後の広域行政に期待されること、国出先機関の丸ごと移管など地方分権を推し進めるため今後も国に対して働きかけていくことなど今後の関西広域連合のあり方について活発な意見交換が行われた。

### (3) 座談会 「関西広域連合の 10 年を振り返る」

参加者 [設立時の委員] 嘉田参議院議員（前滋賀県知事）、山田京都文化博物館館長（前京都府知事）  
[現在の委員] 井戸連合長、仁坂副連合長、三日月委員、西脇委員、飯泉委員

内容 設立時と現在の広域連合委員が 10 年間の歩みを振り返り、道州制の議論が行われる中、首長間の考え方の違いを乗り越え、設立が実現したことなど、設立時の苦労話を披歴するとともに、これからの広域連合に対する思いなどについて意見交換した。

### (4) 「関西新時代宣言」の発出 資料 2

ポストコロナの時代にふさわしい新たな社会づくりを進めるため、関西広域連合が次の 10 年間に目指すべき姿を宣言した。

# 関西・年末感染症防止徹底宣言

現在、また新たに新型コロナウイルス感染症が拡大しています。年末に向け、人と接する機会の増加が予想されるため、危機意識を持って感染防止を徹底するとともに、季節性インフルエンザとの同時流行への備えをお願いします。

## 年末に向けて感染防止の徹底を

- 感染防止の3つの基本（身体的距離の確保、マスクの着用、手洗い）を実践しましょう。
- 忘年会などの感染リスクが高まる「5つの場面」に注意するとともに、3つの密を避けるようにしましょう。
- 発熱など症状のある場合には、すぐに医師に電話し診断を受け、仕事や通学はもとより、忘年会や帰省など外出を控えましょう！
- 帰省先等で発病した場合は、その地域の保健医療当局に協力しましょう。
- 年末年始の休暇を分散して取得し、帰省などで人の密集が起きないようにしましょう。
- 冬期を迎え暖房の利用が増えますがこまめに換気しましょう。
- 国、自治体の接触確認アプリや追跡システムを積極的に活用しましょう。

感染リスクが高まる「5つの場面」

- ① 飲酒を伴う懇親会等
- ② 大人数や長時間に及ぶ飲食
- ③ マスクなしでの会話
- ④ 狭い空間での共同生活
- ⑤ 仕事から休憩室、喫煙所、更衣室等への居場所の切り替わり

## 季節性インフルエンザとの同時流行に備えて

- 寒さが増す中、体調には十分注意するとともに、希望される方は季節性インフルエンザワクチンを早めに接種しましょう。
- かかりつけ医等の地域の身近な医療機関で診療・検査を受けることもできます。発熱などの症状のある方は、まずはかかりつけ医等の地域の身近な医療機関に電話で相談しましょう。

## 思いやり、支え合いの気持ちを

- 感染者のみならず、医療・福祉従事者はじめ国民の健康や暮らしを支えている方々及びその家族などに対し、思いやり、支え合いの気持ちをもちましょう。
- これらの方々への誹謗中傷や差別などは絶対にやめよう！



関西広域連合  
UNION OF KANSAI GOVERNMENTS

## 関西新時代宣言

「分権型社会の実現」と「関西全体の広域行政を担う責任主体づくり」、「国からの事務権限の受け皿づくり」を進め、関西から新時代をつくるという志のもと設立された関西広域連合は、発足から 10 年が経ちます。

この間、ドクターヘリの一体的な運航体制の構築や、相次ぐ自然災害でのカウンターパート方式による迅速な被災地支援など、広域行政の責任主体として着実な成果を上げてきました。

一方で、分権型社会の実現に向けては、政府機関の地方移転を全国で唯一実現したものの、国の出先機関の移管をはじめ国の事務・権限の移譲については、大きな成果は得られていません。

こうした中、新型コロナウイルスという未曾有の危機が世界を襲い、東京一極集中の弊害など我が国が抱える課題が明らかになりました。ポストコロナの時代にふさわしい新たな社会づくりを進めなければなりません。地方分権推進の先頭に立ち、国家構造の転換をリードする特別地方公共団体として、関西広域連合が次の 10 年間に目指すべき関西の姿を、ここに宣言します。

### 1 広域行政のシンボルとして躍進する「関西広域連合」

府県域を越える広域的な課題に関西が連携し的確に対応するため、責任主体として実施する 7 分野の広域事務をはじめ広域行政を充実・強化し、府県域を越える唯一の広域連合としての存在意義を示し、我が国の行政課題の解決をリードしていきます。

### 2 新次元の分権型社会を実現

広域行政の成果を積み重ね、国の事務権限の受け皿たる能力を示し、省庁等有する権能の移管や関西広域連合に相応しい大括りの国の事務・権限の移譲につなげ、地域が自ら政策を決定し実行できる分権型社会の一日も早い実現を目指します。

### 3 デジタル化の推進と国土の双眼構造の実現

文化庁の京都への全面的移転に続く政府機関の移転や広域インフラの整備を推進し、安全安心な国土形成のためのリダンダンシーの確保に取り組みます。その上で、多くの研究・教育機関やライフサイエンス、環境・エネルギー等の産業機能が集積する関西こそが、5GからBeyond 5G、6Gを見据えた新時代のデジタル化を加速度的に進めることで、日本の成長を牽引する関西を確立し、国土の双眼構造の構築を実現します。

### 4 世界のネットワーク拠点“関西”

「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」を通じて、関西の多彩な魅力を世界に発信することで、2025 年「大阪・関西万博」の成功につなげます。そして、アジア・世界とのつながりや新たなイノベーションを生み出す「大阪・関西万博」のレガシーのもと、人・モノ・情報が集積・融合・発信される世界のネットワーク拠点“関西”を創り上げます。

令和 2 年 1 1 月 2 5 日

関西広域連合